

大方中学校が職場体験を実施

5月11日から15日までの5日間、大方中学校3年生が職場体験を実施しました。期間中、65人の生徒がそれぞれ希望する町内外の各事業所で仕事を教わり、事務作業や現場での労務を行いました。



大方くじら保育所で職場体験をした島田百合加さん

子どもを世話する大い
ご協力いただきありがとうございます。JA高知はた大方支所・ネス
トウエストガーデン土佐・NICCO・
NSGサーフショップ・アイボスポー
ツアシストファーム・井原建材入野
小学校・大方くじら保育所・グリーン
ルーム・コーナンシーサイドホーム
ダイソー・谷建築・田ノ口小学校・出
口病院・東京美容室・南郷小学校・南
部保育所・道の駅ピオスおおかた物
産館ひなたや・ひかり乳幼児保育所・
ペットカンパニー・土佐ユートピアカ
ントリークラブ(順不同)

子どもを世話する大い
ご協力いただきありがとうございます。JA高知はた大方支所・ネス
トウエストガーデン土佐・NICCO・
NSGサーフショップ・アイボスポー
ツアシストファーム・井原建材入野
小学校・大方くじら保育所・グリーン
ルーム・コーナンシーサイドホーム
ダイソー・谷建築・田ノ口小学校・出
口病院・東京美容室・南郷小学校・南
部保育所・道の駅ピオスおおかた物
産館ひなたや・ひかり乳幼児保育所・
ペットカンパニー・土佐ユートピアカ
ントリークラブ(順不同)

**入野小学校4年生
ラッキョウ農家体験**

5月12日、入野小学校4年生児童22人が農家体験授業を行いました。



「家でお手伝いしようけん、簡単にできるよ!」
5月21日はラッキョウ酢を作りました。

この授業は同小学校4年生の総合学習の一環として毎年実施されており、1年をかけてラッキョウの収穫体験、入野でラッキョウの収穫体験、入野でラッキョウが生産されてきた歴史、植え付け作業などを地域の方に協力をいただきながら学習するものです。
今回は児童の二宮亜柚実さんの祖父である松田常香さん・辰枝さんご夫妻のラッキョウ畑で収穫を行いました。
日差しが強い暑い日でしたが、みんないっしょうけんめに砂地に生えたラッキョウを抜き、上手に包丁を使って根切りができました。

ヒラメ稚魚の放流を行いました

黒潮町は、以前から沿岸漁業が盛んでしたが、近年は水産資源の減少に伴って漁獲量は減少傾向にあります。今後



もこの傾向は長く続くものと推察されることから、漁業の安定的な生産を確保し、漁業経営の安定と漁業者の所得向上を図るため、県土佐清水漁業指導所の指導や漁協と協議しながら、沿岸域での生息に適した有望種目の稚魚などを放流することによって、資源の枯渇を少しでも阻止すべく資源管理型漁業の推進を行っています。例年、ヒラメ稚魚(60㎞)を高知県栽培漁業センター(須崎市)より5万尾を購入し、町内全港へ放流していますが、今年は稚魚の生産が十分できず1万4千尾を伊田港・上川口港・入野港に放流しました。

**入野小学校
遠足で砂像づくり**

4月27日、入野の浜に入野小学校児童が春の遠足に訪れました。



さわやかな潮風の吹く浜辺で、みんな仲良く遊んでいる様子でした。
午後から、なかよし班(なかよし班は、1年から6年までの全学年が入り混じっている班です。)に分かれて砂像づくりチャレンジしました。
上級生と下級生、みんなが協力アイデアを出し合って、班ごとに素敵な砂像ができていました。
砂浜美術館にまたひとつ新しい作品が展示された1日となりました。

南郷小学校の砂浜運動会

4月13日、鞭地区前の砂浜で南郷小学校が行う恒例の砂浜運動会が開催されました。当日は、太陽がサンサンと降り注ぐ中で、48人の児童たちが元気よく砂浜の上を走りまわる姿が見られました。周辺地域やお家の方々も応援に駆けつけ、プログラムの最後には子どもたち対大人との綱引きで盛り上がりました。



砂の上は走りにくかったけど楽しかった!

新1年生の歓迎と地域住民の方々との交流を、学校生活の中で子どもたちに身近な自然と触れ合う機会をつくってあげたいというたくさんの思いが込められて行われていきます。「とても貴重な取り組みなので今後も継続していきたい」と黒岩譲校長からお話をいただきました。



ひらひらしながらみなさんをお迎えしてました～。訪れた方の「驚き」と「くつろぎ」の表情が見られるのが嬉しいです。

5月1日から5日までのゴールデンウィーク期間中、町内外から応募された1,126点の絵画や写真の作品をプリントしたTシャツが砂浜美術館に展示されました。(NPO砂浜美術館主催)

砂交じりの強風にあおられる日もあれば、シトシトと雨に濡れる日、空高い晴天の下でひらひらとはためく日、ずっと同じ場所ですまざまな表情を来場者に見せてくれました。今年はモンゴル国との共同イベントが企画されており、同国からの作品90点と入野小学校の子どもたちが制作した作品の計約150点が首都ウランバートルの観光地ザイサン丘の階段でも展示される予定です。

第21回Tシャツアート展

高知大方シーサイドはだしマラソン全国大会



5月3日に開催。今年は680人の参加をいただきました。年々、親子ペアの参加が増え、愛犬も一緒に走る姿もみられます。町内からもたくさんの方に参加いただきました。潮風を受けながら、自分たちのペースで走ります。一番の目的は楽しむことです！



5月2日には、図書館企画展「あべ弘士さんと絵をかこう！」が行われ、町内外から52人が参加しTシャツアート展審査委員をしていただいたあべ弘士さん(絵本作家)といっしょにゾウやサル、ウサギなど動物のイラストを描きました。

毎年恒例となったカツオと鯉のぼりの川渡し。5月3日にはカツオと鯉のぼり川渡しフェスティバルが地区主催で行われました。子どもたちへの手づくりの紙の鯉のぼりと綿菓子プレゼント、紙芝居で子どもの日をお祝いし、地場産品などの出店やカツオのワラ焼きタタキが来場者を一層喜ばせていました。



4月中旬から5月中旬までの期間、多くの方が訪れカツオと鯉のぼりを楽しんでいました。(坂折地区伊与木川)

カツオと鯉のぼり川渡し



花壇を設置・色とりどりの花を楽しんで(上分地区)

上分地区では、農地・水・環境保全向上対策事業の一環として、堤防脇、伊与木川河岸の空き地2カ所に花壇の整備を行いました。

今年1月頃に上分老人クラブのメンバーが中心に苗を植え付けし、現在たくさん種類の花々が花壇を彩っています。

「たくさんのお花々が周囲を明るくしてくれています。堤防を車や歩きで通過する方々に楽しんでもらえるよう、今後も地域のみみなで協力して季節の花を咲かせていきたいと思っています」(西村和男 上分区長より)

スポーツ少年団大会結果

4月29日、第18回高知県スポーツ少年団総合交流大会・陸上競技の部が行われ、黒潮町から27名の選手(小学生)が参加しました。

記録

- 男子80mハードル 4位(17秒93)
- 敷地 圭(大方JAC)
- 男子1,000m 2位(3分13秒30(大会新))
- 小橋 優太(大方JAC)
- 男子2×4年 4×100mリレー 6位(73秒99)
- 大方JAC(桐田圭悟・松下健太・菅田碧・西岡研)
- 女子1,000m 1位(3分30秒24)
- 山本 紗羅(大方JAC)
- 4位(3分46秒01)
- 酒井 優衣(大方JAC)
- 女子走高跳 1位(1m25cm(大会新))
- 山沖 真菜(中村JAC)
- 女子ボール投げ 5位(18m00cm)
- 竹本 稀絵(大方JAC)